



質問 1～4 への回答の分析結果を示す。

- ・ 質問 1 は、本学教育の総合的な評価であり、全学平均で 4.07 の高い評価を示している。評価 5 : 大変満足していると評価 4 : 満足している、を合わせて、75% (80 名) となっている。この値は、昨年度 (2020 年度) の 82% に比べて低くなっている。
- ・ 質問 2 の学友関係については、全学平均で 4.66 の高い評価を示している。例年に比べて高くなっている。
- ・ 質問 3 「施設・設備」の評価は全学平均 3.46 であり、2019 年の 3.54、2020 年の 3.67 に比べて低くなっており、自由記述欄に記載の様にインターネットへの不満が高いことが分かる。
- ・ 質問 4 の「就職活動・教員採用試験等への支援」は、教育学部で 4.56 と、高い評価となっている。教育学部での教員採用試験の支援が評価されているものと思われる。一方、国際教養学部での就職支援の評価は 3.52 であり、改善が必要である。

回答	年度	評価点分布 (国際教養学部、教育学部)					平均値
		1	2	3	4	5	
質問 1	2019 年度	1	2	9	46	22	4.08
	2020 年度	2	2	10	29	35	4.19
	2021 年度	2	4	20	39	41	4.07
質問 2	2019 年度	1	1	7	21	50	4.48
	2020 年度	2	2	3	19	52	4.50
	2021 年度	0	0	7	22	77	4.66
質問 3	2019 年度	4	8	22	33	13	3.54
	2020 年度	3	10	14	34	17	3.67
	2021 年度	7	13	34	28	24	3.46
質問 4	2019 年度	3	4	18	32	23	3.85
	2020 年度	2	2	18	21	35	4.11
	2021 年度	6	8	19	16	47	3.94

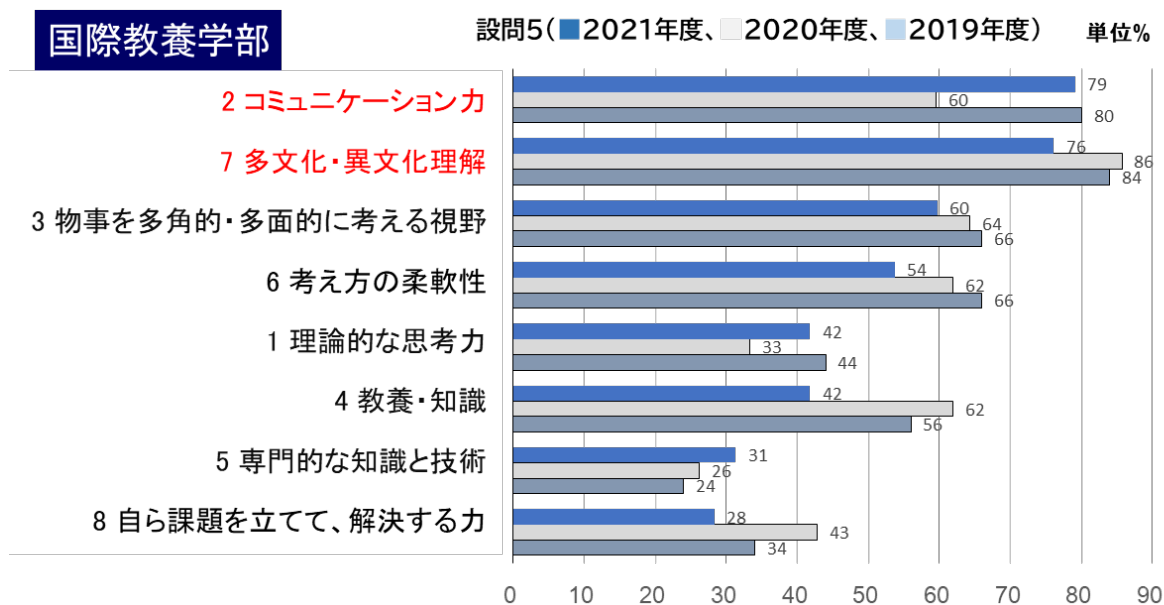
## 2.2 質問 5 の解析

**質問 5** 以下の用語はディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与方針) に掲げられている素養です。本学で身についたと感じるものを選んでください (複数回答)

1 理論的な思考力	6 考え方の柔軟性
2 コミュニケーション力	7 多文化・異文化理解
3 物事を多角的・多面的に考える視野	8 自ら課題を立てて、解決する力
4 教養・知識	9 その他
5 専門的な知識と技術	

回答	選択項目	割合 (%)							
		1	2	3	4	5	6	7	8
国際教養学部	2019 年度	44	80	66	56	24	66	84	34
	2020 年度	33	60	64	62	26	62	86	43
	2021 年度	42	79	60	42	31	54	76	28
教育学部	2019 年度	17	70	57	50	57	50	10	30
	2020 年度	42	72	47	78	67	47	22	56
	2021 年度	49	69	67	59	62	49	15	67

- ・ 国際教養学部では、「2 コミュニケーション力」「7 多文化・異文化理解」が70%以上の学生が身についたと答えており、次に「3 物事を多角的・多面的に考える視野（60%）」「6 考え方の柔軟性（54%）」が続いている。
- ・ 一方で、「5 専門的な知識と技術」「8 自ら課題を立てて、解決する力」がそれぞれ31%、28%と低くなっている。
- ・ 下図において、今年度の結果を2019 および2020 年度と比較すると、「4 教養・知識」「8 自ら課題を立てて、解決する力」が大きく減少している。



- ・ 教育学部では、「2. コミュニケーション力（69%）」「3. 物事を多角的・多面的に考える視野（67%）」「8 自ら課題を立てて、解決する力（67%）」を高い割合で学生が選んでいる。なかでも、「8 自ら課題を立てて、解決する力（67%）」が2020年度の56%および2019年度の30%と比べて、大幅に増加している。
- ・ 一方で、「7 多文化・異文化理解」が15%と低くなっている。

